

1990年から続く一般の方を対象とした哲学入門講座です。
様々な角度から哲学・宗教・芸術・倫理などについて学びます。

2025年度 西田幾多郎

哲 学 講 座

回	日時	内容	講師
①	5月17日【土】 13時30分～15時30分	西田幾多郎 —絶筆にこめられた思い—	石川県西田幾多郎記念哲学館館長 浅見 洋
②	6月28日【土】 13時30分～15時30分	死者からのケアと無心のケア	真宗大谷派僧侶、仏教カウンセラー 坂井 祐円
③	9月27日【土】 13時30分～15時30分	裏口からのスピノザ入門① 言論の自由を滅ぼそうとする国は、滅びる	東京国際大学教授 吉田 量彦
④	9月28日【日】 10時～12時	裏口からのスピノザ入門② 自由意志のない世界を、自由に生きる	
⑤	10月11日【土】 13時30分～15時30分	西田幾多郎と浄土真宗	真宗大谷派教学研究所所員 名和 達宣
⑥	10月12日【日】 10時～12時	京都学派の哲学と親鸞	
⑦	11月29日【土】 13時30分～15時30分	ロールズ正義論入門 —社会の「正しさ」を求めて—	富山大学講師 児島 博紀
⑧	12月13日【土】 13時30分～15時30分	これからの社会で「クリティカルシンキング」をどう生かすか	金沢医科大学准教授 菊地 建至
⑨	2026年3月7日【土】 13時30分～15時30分	<いのち>から問われる —フランクフルが歴史に応答したこと	関西学院大学教授 岡本 哲雄
⑩	3月8日【日】 10時～12時	<いのち>に応答する —フランクフルから人を育むことの意味を考える	



- 受講料** 1回:500円、年間:2,000円
- 会場** 石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール
- 申込方法** 【各回受講】申し込み不要です。直接会場へお越しください。
【年間受講】申し込みは随時受け付けております。

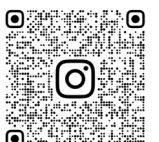
住所・氏名(フリガナ)・電話番号・(お持ちの方は)メールアドレスを、
電話・FAX・E-mailなどにて下記までお申し込みのうえ、当日受付にて
受講料をお支払いください。

※講座が中止になった場合、年間受講料の返金はいたしかねますのでご了承ください。
※個人情報は、当館主催事業に関する目的以外には使用しません。

お問い合わせ

石川県
西田幾多郎記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角 井1
TEL(076)283-6600 FAX(076)283-6320
E-mail: nishida-museum@city.kahoku.lg.jp
<https://www.nishidatetsugakukan.org/>



2025年度 西田幾多郎哲学講座 講師、各講座のご紹介

浅見 洋 石川県西田幾多郎記念哲学館館長、石川県立看護大学名誉教授

① 5月17日 [土] 13時30分～15時30分

西田幾多郎—絶筆にこめられた思い—

■講座内容紹介

2025年は西田の没後80年に当たります。本講座では、西田の没後、机上に残されていた未完の絶筆である「私の論理について」という文章に注目します。その中で西田は、学会で批評されることはあっても、自分の論理が理解されているわけではないと嘆きます。この最後の原稿に込められた哲学者の思いを紐解きます。

■専門分野 西田哲学、日本思想史

■主な著書・論文

『西田幾多郎とキリスト教の対話』（朝文社）
『西田幾多郎—生命と宗教に深まりゆく思索』（春風社）

坂井 祐円 真宗大谷派僧侶、仏教カウンセラー

② 6月28日 [土] 13時30分～15時30分

死者からのケアと無心のケア

■講座内容紹介

晩年の田辺元は、「死者との実存共同」について考究しました。これは現代の文脈では、「死者からのケア」とでも言える先駆的な問題提起でした。災害、戦争、パンデミックなど、現代でも繰り返される苦難を憂慮するたびに、死者との関わりがより深まってきます。そうした祈りは、日常生活において実存の交わりを生み出し、「無心のケア」となって私たちに呼びかけてきます。死者からのケアと無心のケアの結びつきについて考えてみたいと思います。

■専門分野 宗教学、人間性心理学、仏教カウンセリング

■主な著書・論文

『無心のケア』（共編著、晃洋書房）
『お坊さんでスクールカウンセラー』（法蔵館）

吉田 量彦 東京国際大学教授

③ 9月27日 [土] 13時30分～15時30分

裏口からのスピノザ入門① 言論の自由を減ぼそうとする国は、滅びる

④ 9月28日 [日] 10時～12時

裏口からのスピノザ入門② 自由意志のない世界を、自由に生きる

■講座内容紹介

スピノザ（1632-1677）は近代社会のさまざまな仕組みがまさに確立されようとしていた17世紀、オランダで短い生涯を送った哲学者です。日本では長らく表の著書『エチカ（倫理学）』だけの印象で語られがちでしたが、今回は裏の主著『神学・政治論』からアプローチを始めることで、宗教や政治のような生活密着型の問題から世界観や人生のようなより根本的な問題におよぶ、スピノザの思想の幅広い射程を明らかにしていきたいと考えています。

■専門分野 ドイツ語圏を中心とする17、18世紀の西洋近代哲学

■主な著書・論文

『スピノザ—人間の自由の哲学』（講談社現代新書）
スピノザ『神学・政治論』（翻訳、光文社古典新訳文庫）

名和 達宣 真宗大谷派教学研究所所員

⑤ 10月11日 [土] 13時30分～15時30分

西田幾多郎と浄土真宗

⑥ 10月12日 [日] 午前10時～12時

京都学派の哲学と親鸞

■講座内容紹介

西田幾多郎と仏教といえば、禅のイメージをもたれることが多いでしょうが、実は浄土真宗とも深いかわりがあります。熱心な真宗門徒の家に生まれたことに加え、宗祖の親鸞や、清沢満之、曾我

量深といった近代の教学者の思想からも少なからざる影響を受けています。1日目は、西田と浄土真宗との関係とその意義を考えます。2日目は、西田にかぎらず、田辺元、三木清といった京都学派の哲学と親鸞教学との交流をたずねます。

■専門分野 宗教哲学、親鸞教学、京都学派の哲学

■主な著書・論文

『近代の仏教思想と日本主義』（共編、法蔵館）
「西田幾多郎と『教行信証』—最後の完成論文「場所的論理と宗教的世界観」執筆の背景」（『現代と親鸞』31号）

児島 博紀 富山大学講師

⑦ 11月29日 [土] 13時30分～15時30分

ロールズ正義論入門—社会の「正しさ」を求めて—

■講座内容紹介

ジョン・ロールズは20世紀アメリカを代表する哲学者です。1971年刊の著書『正義論』は、哲学のみならず政治学・法学・経済学など広く人文・社会科学を巻き込む論争の書となりました。その眼目は、まっとうな社会制度のあり方を指し示す根本原理を提示することにあります。この講座では、『正義論』の背景や基本主張を紹介しつつ、現代の社会的問題と絡めて考察することで、そのアクチュアリティを探ります。

■専門分野 教育哲学、規範倫理学

■主な著書・論文

『徳の教育と哲学—理論から実践、そして応用まで』（分担執筆、東洋館出版社）
「ロールズのメリトクラシー批判—機会の平等論の転換に向けて—」（『教育学研究』82巻1号）

菊地 建至 金沢医科大学准教授

⑧ 12月13日 [土] 13時30分～15時30分

これからの社会で「クリティカルシンキング」をどう生かすか

■講座内容紹介

わたしは現在、医学部・看護学部の学生を相手に、「人間と社会・地域を良く知り、多様な人と良い関係で協働できる医療者・人に成長する」クリティカルシンキングを教えています。また、こういう学びによって知的に成長することは、クールな面での人の成長だけでなく知的な人のあたたかさという面でも向上した人になることにつながる可能性が高いと考えています。講座にご参加のみなさんがクリティカルシンキングを生かすきっかけになる講義になればと思います。

■専門分野 哲学、医療人文学

■主な著書・論文

「医師育成への人文科学の寄与2—医学部第1学年「クリティカル・シンキング」の内容と位置づけを中心に」（『金沢医科大学教養論文集』47号）
『いまを生きるための倫理学』（分担執筆、丸善出版）

岡本 哲雄 関西学院大学教授

⑨ 2026年3月7日 [土] 13時30分～15時30分

〈いのち〉から問われる—フランクが歴史に応答したこと

⑩ 2026年3月8日 [日] 10時～12時

〈いのち〉に答える—フランクから人を育むことの意味を考える

■講座内容紹介

ナチス強制収容所の体験記録『夜と霧』の著者として、またロゴセラピーの創始者として知られる精神科医V.E. フランク（1905-97）は、生きる意味と受苦について実践的に思索した哲学者ともいえ、いくつもの著作の中で〈いのち〉への深い洞察を遺しています。本講座では、同時代の京都哲学や他の思想との対話を試み、彼が何を歴史に答えたのかを考えると共に、そこから価値不確実の時代に昏迷する「人を育むこと」の意味を探ります。

■専門分野 人間形成論、教育人間学、教育哲学、臨床教育学

■主な著書・論文

『フランクの臨床哲学—ホモ・パティエンスの人間形成論』（春秋社）
フランク『人間とは何か—実存的精神療法』（共訳、春秋社）